

平成23年度 平和資料館親子見学会

参加者の感想



対 象 町内小学校5・6年生と保護者

参加人数 23人

実施日 平成23年7月30日(土)

見学場所 『川崎市平和館』

『昭和館』

主 催 愛 川 町

後 援 愛川町教育委員会

この見学会の参加者に無記名でアンケートを実施しましたので、自由意見として書かれた感想等を紹介いたします。

なお、掲載している文章は、基本的に原文どおりですが、誤字・脱字など細かい部分は訂正しています。

1. 小学5・6年生の感想

No.	感想等自由意見
1	はじめて戦争の写真や映像を見れたことがよかったです。
2	自分の中で参加して良かったと思った。
3	むかしの人のせいかつから比べると、いまはとてもすみやすいことがよくわかった。
4	今は東北大震災でふっきゅうがいそがしいのに、地震がおそっています。むかしは戦争で何も関係のない人がたくさん死んでしまい、今はつなみのひがいでたくさんの方がつなみにまきこまれてしまいました。戦争中はごはんもろくに食べられず、夜も安心してねむれなかったと思いました。今の東北もいっしょなじょうたいだと思います。だけど日本は終戦後10年でふっきゅうさせました。やっぱり日本はすごいと思いました。私は戦争の無い世界になればと思いました。
5	戦争をくりかえさない、自由に生きることが大切です。
6	戦争中の服やその後などのことがわかってよかったです。
7	私は平和の大切さを多くの人に伝えて、みんなでかんがえていきたいと思いました。
8	今回の見学を通して、さまざまな平和の大切さを知り、とてもためになってよかったです。昭和館の、今とはちがう昔の道具があって、とても工夫されているなと思いました。私達は、今、この時代に生まれて、とても幸せだな、とあらためて思い、ごはんも食べれて、病院にも行け、昔の人々のくらし、食べ物に比べると、私達は幸せです。

2. 保護者の感想

No.	感想等自由意見
1	戦争に対してだけの平和だけでなく、貧困や環境問題などさまざまな問題の中であって、地球市民として持続可能な社会を今後どうやってつくっていくかが問われていると思います。そういったことを考え、行動する良いきっかけとなったと思います。また、今までやってきた戦争という悲んなことをくり返してはならないということを展示品などをみながら感じました。

2	マザー・テレサの言葉に、「一日5回、気の合わない人に笑顔を見せなさい、そうすれば争い事は無くなる。」みたいな所があり、たしかに自分から行動をおこせば、何かが変わり、良い方向へ進んでいくのかも実感しました。
3	戦争は悲しくつらいことです。2度とくり返さず、子供たちに良い未来をのこしていかなければならないという思いを強くしました。
4	私自身、戦争体験者ではなく、メディアを通してしか「争い」というものを知りませんので、昔の映像や解説、資料等を間近で観る事が出来、参加して良かったと思います。
5	子供と一緒に平和の大切さを多くの人に伝える為には、難しく考えてしまいますね。家に帰って子供と考えてみます。
6	川崎市平和館は、戦争だけではなく広い意味で平和について知ることができました。マザー・テレサの言葉はとても心に響き、多くの人に伝えたいと思いました。昭和館では、戦時中～戦後の復興について知ることができました。3月11日の東日本大震災からも必ず復興できる！！と強く思いました。私達の大先輩の方々が生きてきた歴史を知る貴重な経験ができてよかったです。これから生きてゆく私達、子ども達の未来のために、平和を願うだけではなく、何ができるかを考えなければならぬと切に思いました。
7	千人針、赤紙、戦場からの手紙等々、当時の写真パネルとあわせて、実際の物を目にすることや、体験コーナーで防空ごうや当時の制服を着ることが出来、今私達の豊かな生活は、その時代とつながっているんだということ再認識しました。
8	平和とは、一言で伝える事ができない程、むずかしいものだと感じました。
9	欲を持たず、細々と生活していく事。これから、子供たちにも伝えていく事。
10	子供にとっても、大変貴重な体験ができたと思います。今日のことを忘れずに、これからの生活に少しでも役に立ててもらえたらうれしいです。



愛川町